

令 和 8 年 度

業 務 番 号 ..... 繰 委 ..... 第 ..... 5 3 9 5 ..... 号

..... 三島上区域外砂防関係施設調査 ..... 業務委託

## 特 記 仕 様 書

1. 設計図書に対して質問がある場合は 青森県三八県土整備事務所河川砂防施設課 あてに  
質問書を 入札執行日5日前 の 12時00分 までに提出して下さい。  
(質問書送付先FAX番号 : 0178-27-4715)
2. 回答書は 入札執行日3日前 の 12時00分 までにFAXで回答します。  
(上記 1. 及び 2. の日数には、土日及び祝祭日は含みません)
3. 回答は、質問書を提出した会社を含め全社に通知します。
4. 上記以外の方法による質問・問い合わせ等は、ご遠慮願います。  
【電話やメール、直接来訪をされての質問・問い合わせには、一切お答えできません】

..... 八 戸 市 大字 白銀町外 地内 .....

青 森 県 三 八 県 土 整 備 事 務 所

## 第 1 章 総 則

### 第 1 条 共通仕様書等の適用

本業務の施行にあたっては、青森県県土整備部制定「設計業務等共有仕様書」、「測量業務共通仕様書」、「地質・土質調査業務共通仕様書」、「用地調査等業務共通仕様書」によるほか、特記仕様書に基づき実施しなければならない。

共通仕様書と特記仕様書が一致しない条項は、特記仕様書が優先する。

### 第 2 条 委託業務日数又は履行期限

1. 業務日数 日
2. 履行期限 令和 8 年 1 2 月 1 5 日

### 第 3 条 打ち合わせ等

本業務における打ち合わせは、当初、成果品納入時及び測量作業中とし、3回とする。

業務の主要な区切りについては、調査職員と協議のうえ決定とする。

### 第 4 条 業 務 計 画

本業務における業務計画書は、当初打ち合わせ後、速やかに提出するものとする。

### 第 5 条 資 料 の 貸 与

貸与する図書及びその他の関係書類は、下記のとおりとする。

- .....・過年度点検調査書 1 式.....
- .....・過年度点検業務報告書 1 式.....

### 第 6 条 履 行 報 告

受注者は、契約書第 1 5 条の規定に基づき、履行状況を別に定める様式に基づき作成し、調査職員に提出するものとする。

### 第 7 条 「参考資料」

特記仕様書の外に提示する「参考資料」は、指名参加業者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

## 第 2 章 業 務 内 容

### 第 1 条 点検作業条件

点検作業条件は、下記のとおりとする。

|   |   |         |
|---|---|---------|
| 工 | 種 | 作 業 条 件 |
|---|---|---------|

#### 1. 目的

本業務は、「青森県砂防関係施設点検マニュアル（令和 3 年 3 月）（以下、「点検マニュアル」という。）」に基づき、砂防関係施設の機能や性能の低下などの状況を把握し、健全度を評価するために概ね 5 年に 1 回実施する「定期点検」と、点検マニュアルに基づき施設変状の推移を把握するために年 1 回実施する「定期巡視」を行うことを目的とする。

点検の対象とする施設は、砂防設備、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設とする。

定期点検は、点検マニュアル及び「砂防関係施設点検要領（案）（令和 7 年 4 月）（以下、「点検要領（案）」という。）」に基づき、徒歩もしくは UAV 等により近接点検を行うものとする。

定期巡視は、定期点検で変状が抽出された施設のうち、対策未実施の砂防関係施設について、点検マニュアルに基づき、変状の推移状況を把握するために行うものとする。

#### 2. 業務内容

##### < 共通 >

##### （1）計画準備

計画的かつ効率的な定期点検及び定期巡視の実施が図られるよう、基本的な事項をとりまとめた点検計画及び巡視計画を策定する。

点検計画及び巡視計画には次の基本的な事項をとりまとめる。

各事項の詳細については、「点検マニュアル」の「2. 1 点検計画」及び「3. 1 巡視計画」を参照。

・対象区域

・対象施設

・対象項目

・点検及び巡視の実施体制

・点検及び巡視の時期

##### < 定期点検 >

##### （3）急傾斜地崩壊防止施設

急傾斜地崩壊防止施設の点検においては、損傷及び劣化の把握、損傷及び劣化の進行状況の把握、原因及びメカニズム、機能・性能が低下した場合の問題点を推定しつつ、点検を実施する必要がある。

ある。損傷及び劣化の速度や変状の原因、メカニズムには、部材の経年劣化と斜面の変位等が考えられるため、周辺の状況についても点検の対象とする。

青森県では、急傾斜地崩壊防止施設として排水工、吹付工、張工、プレキャスト法枠工、現場打コンクリート枠工、アンカー工、擁壁工、落石防護柵工、待受擁壁工などの工種が採用されている。

なお、補強土擁壁工が採用されている場合には、機能または構造型式、部材構成等が類似しているブロック張工やアンカー工、擁壁工等を適宜選択して記録する。

点検項目については、「点検マニュアル」の「2. 2. 3 急傾斜地崩壊防止施設」を参照。

写真は、前回の調査記録があれば、可能な範囲で前回調査時と同じような角度・範囲で撮影を行う。

写真撮影箇所については、「点検マニュアル」の「2. 3. 3 急傾斜地崩壊防止施設」を参照。

#### < 定期巡視 >

##### (1) 対象施設

定期巡視は、長寿命化計画対象区域での定期点検に基づく健全度評価結果が「経過観察：B」、  
「予防保全：B'」及び「要対策：C」施設のうちの対策未実施の砂防関係施設の変状箇所と、不透過型堰堤（管理、堆積工）の堆砂箇所を対象に実施する。

定期巡視では、定期点検により変状が抽出された箇所、部位、項目について、定期点検時または前回定期巡視時からの変状の推移状況を把握するために調査を行う。

変状の変化状況を把握し、健全度が「予防保全：B'」の施設では健全度を「要対策：C」に変更する必要があるか、健全度が「経過観察：B」の施設では健全度を「要対策：C」または「予防保全：B'」に変更する必要があるかを確認する。

また、平常時出水等による土砂堆積により施設効果が阻害されやすい不透過型堰堤（管理、堆積工）の堆砂状況について確認する。

#### < 点検調書更新 >

##### (1) 点検結果の記録

対象区域、対象施設の定期点検及び定期巡視の結果を点検調書及び一覧表に記録する。

## 第2条 UAV等を用いた測量

- 1 本業務は、生産性の向上や現地作業の安全性の向上等が期待できる場合、受注者からの発議による3次元点群測量の実施が可能である。
- 2 3次元点群測量の実施を希望する場合、業務成果の使用目的について調査職員と共有し、その目的に沿った手法及び仕様で実施しなければならない。
- 3 3次元点群測量の実施に伴う実施内容、対象範囲及び費用については、受発注者間の協議により定めるものとする。
- 4 受注者は、青森県県土整備部、国土交通省及び国土地理院等が定める各種基準に基づく電子成果品を納品する。
- 5 受注者は、3次元点群測量に係る測量機器の操作については、再委託できるものとし、再委託を行う場合には、測量業務共通仕様書第29条第3項の規定により、発注者の承諾を得なければならない。
- 6 受注者は、実施にあたりUAVを使用する場合は「公共測量におけるUAVの使用に関する安全基準（案）」（国土地理院・最新版）に準拠して作業を行うものとし、これによりがたい場合は調査職員と協議するものとする。
- 7 受発注者間の協議により路線測量又は河川測量の測量成果が必要となった場合、「三次元点群データを使用した断面図作成マニュアル」（国土地理院・令和5年3月）に基づいて作成した「縦断面図データファイル」及び「横断面図データファイル」を納品するものとする。

## 第3条 BIM/CIMの活用について

本業務は、「青森県県土整備部所管土木事業におけるBIM/CIM活用実施要領」に基づき、受注者の希望により3次元モデルを活用できるものとする。

3次元モデルの活用を希望する場合は、業務受注後、調査職員と目的、活用内容、仕様及び費用等について協議すること。

費用は、発注者が必要と認めるものに限り設計変更の対象とする。

## 第4条 提出書類

共通仕様書に定める提出書類のほか、別表に定めるとおりとする。

## 第5条 支給材料

本業務における支給材料は次のとおりである。

1. 品 名.....
2. 数 量.....
3. 品 質・品 等.....
4. 規 格・性 能.....
5. 引 渡 場 所.....
6. 引 渡 時 期.....
7. 使用方法場所.....

## 第6条 そ の 他

- － 1) 完成検査の予定については、実施予定の前月 15 日までに予定日を調査職員に報告のこと。
- － 2) 受注者は、受注者及び下請負者等に対して暴力団員等による不当介入があった場合は、発注者及び警察へ報告・通報しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。
- － 3) 本業務は、ウィークリースタンス等の実施対象業務である。実施にあたっては、「県土整備部発注設計業務等におけるウィークリースタンス等の実施について」に基づき、受発注者相互に協力し取り組むものとする。

＜整備企画課 HP＞

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html>

- － 4) 本業務では、情報共有システムを利用することを原則とする。  
なお、システムの利用に適さない場合は、調査職員との協議によりシステム利用の対象外とすることができる。

情報共有システム利用基準      ＜整備企画課 HP＞

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html>

## 第 3 章 成 果 品

### 第1条 成果品の提出

成果品は共通仕様書で定める他、次のものを提出すること。

- 1. 報告書
  - (1) 電子媒体 (CD-ROM)      .....1.....部
  - (2) 紙媒体 (簡易なファイルにとじたもの、図面含む)      .....1.....部
- 2. その他
  - (1) 現地測量写真集      .....部 (報告書電子媒体に含む)

# 測量業務に関する提出種類一覧表

## (1) 契約書に基づいて必ず提出する書類

| 提出先   | 名 称             | 提出期日              | 部数 | 条 項  |
|-------|-----------------|-------------------|----|------|
| 建設管理課 | 業 務 工 程 表       | 契 約 後 14 日 以 内    | 1  | 3 条  |
| 建設管理課 | 管 理 技 術 者 通 知 書 | 契 約 後 遅 滞 な く     | 1  | 10 条 |
| 調査職員  | 業 務 履 行 報 告 書   | 毎月 1 回、調査職員の指定日   | 1  | 15 条 |
| 調査職員  | 完 成 届           | 業 務 を 完 了 し た と き | 1  | 32 条 |
| 調査職員  | 業 務 成 果 引 渡 書   | 引 渡 の と き         | 1  | 32 条 |
| 調査職員  | 請 求 書           | 引 渡 の と き         | 1  | 33 条 |

## (2) 契約書に基づいて必要に応じて提出する書類

| 提出先   | 名 称                        | 提出期日                | 部数 | 条 項  |
|-------|----------------------------|---------------------|----|------|
| 建設管理課 | 管 理 技 術 者 変 更 通 知 書        | 変 更 の 都 度           | 1  | 10 条 |
| 調査職員  | 貸 与 品 借 用 書                | 貸 与 時               | 1  | 16 条 |
| 調査職員  | 貸 与 品 返 還 書                | 返 還 時               | 1  | 16 条 |
| 調査職員  | 履 行 期 間 の 変 更 請 求 書        | 変 更 を 必 要 と す る と き | 1  | 23 条 |
| 調査職員  | 部 分 使 用 同 意 書              | 発注者が部分使用を請求したとき     | 1  | 34 条 |
| 調査職員  | 指定部分に係る（又は、引渡部分に係る）業務完了報告書 | 設計図書に定められた期日        | 1  | 38 条 |

## (3) 仕様書に基づいて必ず提出する書類

| 提出先  | 名 称       | 提出期日               | 部数 | 条 項                |
|------|-----------|--------------------|----|--------------------|
| 調査職員 | 業 務 計 画 書 | 契 約 締 結 後 14 日 以 内 | 1  | 13 条               |
| 調査職員 | 業 務 打 合 簿 | そ の 都 度            | 1  | (契)2 条<br>(仕)11 条他 |

## (4) 仕様書に基づいて必要に応じて提出する書類

| 提出先  | 名 称             | 提出期日                 | 部数 | 条 項  |
|------|-----------------|----------------------|----|------|
| 調査職員 | 担 当 技 術 者 届     | 担当技術者を定めた場合          | 1  | 10 条 |
| 調査職員 | 担 当 技 術 者 変 更 届 | そ の 都 度              | 1  | 10 条 |
| 調査職員 | 身 分 証 明 書 交 付 願 | 必 要 な 時              | 1  | 17 条 |
| 調査職員 | 事 故 報 告 書       | 事 故 が 発 生 し た と き    | 1  | 33 条 |
| 調査職員 | 新 技 術 活 用 計 画   | NETIS 登録技術の活用を希望するとき | 1  | 39 条 |
| 調査職員 | 活 用 効 果 調 査 票   | 業 務 完 了 後            | 1  | 39 条 |

(全〇枚)

日

FAX : 0178-27-4715

F A X

綜委第5395号

## 三島上区域外砂防関係施設調査業務委託

[illegible]

※質問がない場合は、提出の必要はありません

本票(FAX)による質問書提出以外の問い合わせには回答いたしません



# 受 領 確 認 書

令和      年      月      日

青森県三八県土整備事務所長    殿

会 社 名 \_\_\_\_\_

受領者氏名 \_\_\_\_\_

電 話 \_\_\_\_\_ F A X \_\_\_\_\_

業務番号      繰委第5395号

業務名      三島上区域外砂防関係施設調査業務委託

上記業務委託の回答書を受領しました。